

船津 功教授略歴・主要業績目録

1 略歴

(1)学歴

- 1944年7月 群馬県前橋市に生まれる。
1969年3月 中央大学文学部史学科国史専攻卒業（文学士）
1969年4月 北海道大学大学院文学研究科修士課程日本史学専攻入学
1972年3月 北海道大学大学院文学研究科修士課程日本史学専攻修了（文学修士）
1972年4月 北海道大学文学部研究生
1973年3月 北海道大学文学部研究生修了
1973年4月 北海道大学大学院文学研究科博士課程日本史学専攻入学
1976年3月 北海道大学大学院文学研究科博士課程日本史学専攻単位取得満期退学

(2)職歴

- 1973年10月～1980年3月 北海道武蔵女子短期大学非常勤講師
1974年4月～1977年3月 札幌大谷女子短期大学非常勤講師
1977年1月 大学設置審にて札幌商科大学専任講師（歴史、日本史）の判定を受ける
1977年4月 札幌商科大学人文学部専任講師
1978年4月～1990年3月 札幌商科大学（現、札幌学院大学）人文学部助教授
1983年8月 大学設置審にて札幌商科大学助教授（日本史）の判定を受ける
1984年4月 札幌学院大学に校名変更
1990年4月 札幌学院大学人文学部教授
2013年3月 札幌学院大学定年退職
2013年4月 札幌学院大学名誉教授
札幌学院大学在籍中に札幌医科大学衛生短期大学部、酪農学園大学、北海学園大学、北海道教育大学岩見沢校の非常勤講師を務める

(3)学会所属

- 1969年4月～2013年3月 歴史学研究会会員
1969年4月～2013年3月 歴史科学協議会会員
1969年4月から現在 北大史学会会員
1974年4月～2013年3月 史学会会員
1974年4月～2013年3月 日本史研究会会員
1974年4月～2013年3月 札幌唯物論研究会会員

1975年8月から現在 北海道歴史研究者協議会会員
1977年4月～2013年3月 中央史学会会員
1984年4月から現在 明治維新史学会会員
1984年4月から現在 北海道史協議会会員
1994年4月から現在 北海道・東北史研究会会員

2 業績

(1)著書

1992年3月 『北海道議會開設運動の研究』北海道大学図書刊行会（現、北海道大学出版会）
1994年3月 『歴史学と民衆史運動』北海道出版企画センター
2000年9月 『北海道の歴史』県史シリーズ1（共著）山川出版社
2010年11月 同上書の第2版 市町村合併に対応する出版に際し、自治体「沿革表」の改正と執筆部分の修正・加筆等を行った。

(2)分担執筆

1971年3月 『北海道商工会史』北海道商工会連合会
第1部第3章「北海道の商工会10年の歩み」を担当、第2部「北海道商工会連合会・商工会一覧」「北海道における商工会変遷表」「商工会関係年表」は共同執筆
1977年3月 『新北海道史』第6巻（通説5）北海道
第8編第6章第5節の4「地場工業」を担当
1981年3月 『北海道商工会20年史』北海道商工会連合会
第I部第1章第1節「戦後における北海道の商工会」第2節「商工会法の成立」第2章第2節「北海道商工連合会の確立」第3章第2節「商工会婦人部の発展」を担当、第II部「北海道商工会連合会・商工会一覧」第III部「商工会関係年表」等は共同執筆
1989年3月 『常呂町百年史』常呂町
第2章第1節「戸長役場の成立と行政機構」第3章第2節「二級町村制の施行と村議会」第4章第1節「昭和初期の村政の推移」第7節「第2次大戦下の常呂」第5章第1節「戦後の行政と町制改革」第6章第1節「行政と地域の振興」を担当
1989年3月 『北海道商工会婦人部連合会20年史』北海道商工会婦人部連合会
第I部第1章「商工会の成立と婦人部」第2章「商工会婦人部20年の歩み」を担当、第II部（2）「北海道商工会婦人部の現況」（4）「婦人部略年表」等は共同執筆

- 1990年11月『函館市史』通説編第2巻 函館市
第3章第2節「自治制への歩み」を担当
- 1990年12月『雨竜町百年史』雨竜町
第3章第2節の4「アイヌの生活」第3節の4「群馬団体の移住」第4章第1節
「二級町村制の施行」第5章第1節「戦時下までの雨竜」を担当
- 1994年5月『富良野市史』第3巻 富良野市
第3章「選挙」を担当
- 1997年3月 強制連行実態調査会『強制連行調査報告書』北海道
第3部のIの7「北炭幌内炭鉱関係資料について」を担当
- 1999年3月 朝鮮人強制連行実態調査報告書編集委員会・札幌学院大学北海道委託調査報告書
編集室『北海道と朝鮮人労働者—朝鮮人強制連行実態調査報告書—』北海道
第3章第1節「炭鉱における労働と生活」を担当
- 2002年3月『標茶町史』通史編第2巻 標茶町
第1章「二級町村制の実施と標茶町への改称」を共同執筆

(3)論文等

- 1971年8月「大政奉還をめぐる政権構想の再検討—坂本竜馬「新官制案」の史料批判を中心に—」『歴史学研究』第375号
- 1973年7月「西郷隆盛小論—征韓論以後の西郷—」北大史学会会報『史筵』4
- 1975年7月「維新政権の政策課題—集権化の経済政策と維新官僚に関する序章—」『北大史学』
第15号
- 1977年2月「北海道史を考える—概説書で扱われた近代史の検討中心に—」（共同執筆）『松
前藩と松前』第10号
- 1977年8月「特集関係文献解説—近代天皇制研究—」『歴史公論』第3巻第8号—特集近代
天皇制と日本の近代—（本論文は中国社会科学院世界歴史研究所『世界歴史論
双』1979年2月号に中国語訳された。）
- 1978年2月「歴史学と民衆史掘り起こし運動」上・下『北海道新聞社』1978年2月3日、4日
夕刊（本論文は北海道歴史教育者協議会『北海道歴史教室』第126号に掲載さ
れた。）
- 1979年2月「維新政権の経済政策—大蔵省政策よりみた廃藩置県の一考察—」『論集（人文編）』
（札幌商科大学）第23号開学10周年記念号
- 1979年9月「民衆史そして少数民族」『北海道新聞』1979年9月8日夕刊
- 1979年9月「民衆史掘り起こし運動の成果と課題」北海道歴史研究者協議会『道歴研会報』
第17号

- 1979年11月「民衆史掘りおこし運動の成果と課題（1）－『民衆史運動－その歴史と理論－』の書評を例として」『論集（人文編）』（札幌商科大学）第25号
- 1980年9月「民衆史掘りおこし運動の方法と理論－小池喜孝氏の著作の分析を例として－」『歴史評論』第395号
- 1980年10月「現代天皇制の支配構造と学問研究－元号と有事立法を例として－」『元号法制化に反対する北大文学部連絡会ニュース』第2号
- 1981年4月「シンポジウム『自由民権百年－民衆史の運動と方法－』（要約、共同執筆）自由民権100年北海道連絡会『凍原に挑む』
- 1982年9月「北海道民衆史の動向」公開講座北海道文化論第1集 札幌商科大学人文学部『北海道民衆の歩み』札幌商科（現、札幌学院）大学生生活協同組合
- 1982年12月「民衆史掘りおこし運動の成果と課題（2）－北海道文化論『北海道民衆の歩み』の紹介と分析－」『論集（人文編）』（札幌商科大学）第32号
- 1983年7月「北海道史ゼミナールを担当して」『北海道歴史教室』第145号
- 1985年7月「論文のテーマ・形式よりみた『北海道女性史研究』」『北海道女性史研究』第20号
- 1986年3月「北海道議会開設運動」永井秀夫編『北海道民権史料集』北海道大学図書刊行会
- 1986年3月「関矢マリ子さんと道歴研」『道歴研会報』第42号
- 1986年8月「札幌における北海道議会開設運動」札幌市教育委員会文化資料室『札幌の歴史』第11号
- 1986年12月「札幌における北海道議会開設運動の組織と担い手について」『札幌学院大学人文学部紀要』第40号
- 1987年5月「函館地方の北海道議会開設運動（1）」函館市史編纂室『地域史研究はこだて』第5号
- 1988年2月「歴史学と民衆史運動」民衆史道連『続・掘る－北海道の民衆史掘りおこし運動・地下伏流を顕流に－』民衆史道連出版部
- 1988年4月「函館地方の北海道議会開設運動（2）」『地域史研究はこだて』第7号
- 1988年7月「民衆史運動と歴史学研究」札幌唯物論研究会『唯物論』第33号
- 1988年9月「小樽の北海道議会開設運動（1）」『札幌学院大学人文学部紀要』第43号
- 1988年12月「歴史学と口承文学」北海道口承文学研究会『北の語り』第4号
- 1989年3月「北海道議会開設運動－北海道の自由民権運動と近代的人間類型－」『道歴研会報』第53号
- 1989年9月「小樽の北海道議会開設運動（2）」『札幌学院大学人文学部紀要』第45号
- 1990年12月「北海道議会開設運動の請願書」『札幌学院大学人文学部紀要』（『紀要』の発行主体を人文学部より人文学会に変更）第48号

- 1991年4月「明治20年代の北海道議会開設運動について」明治維新史学会『明治維新史学会報』第18号
- 1991年9月「函館地方の北海道議会開設運動(3)」『地域史研究はこだて』第14号
- 1995年7月「関矢留作に関する基礎的研究—夭折した農業経済学者・社会活動家の生涯—」『北海道・東北史研究会 余市シンポジウム報告集』
- 1996年3月「官有物払下げに怒りの声—北海道の自由民権運動—」田端宏他編『史料が語る北海道の歴史60話』三省堂
- 1998年4月「板垣退助一行の北海道遊説について」永井秀夫編『近代日本と北海道』河出書房新社
- 2000年5月「民衆史掘りおこし運動の方法と課題」『展望日本歴史2 歴史教育の現在』(全24巻)東京堂出版
- 2002年3月「北海道近世・近代史の特徴を考える」札幌学院大学人文学部『フォーラム人文』第4号 第21回北海道文化論 総合テーマ北海道の生活文化
- 2003年3月「明治初期、根室住民の自立と地域づくり」『根室市博物館開設準備室紀要』第17号
- 2003年3月「史料と史実：坂本竜馬の暗殺現場を再現する」『フォーラム人文』第5号 第22回北海道文化論 総合テーマ事実のゆらぎ
- 2003年3月「屯田を伝える」湧別町『第2回 屯田フォーラム記録』
- 2003年6月「明治初年の北海道開拓における士族移住(1)」北海道総合研究調査会『しゃりばり』第256号
- 2003年7月「明治初年の北海道開拓における士族移住(2)」『しゃりばり』第257号
- 2007年3月「北海道開拓と江別・北越殖民社」江別市生涯学習推進協議会『郷土江別の歴史を学ぶ』
- 2007年7月「北海道の自由民権運動」(共同執筆)永井秀夫『日本の近代化と北海道』北海道大学出版会

(4)資料紹介等

- 1987年9月「国領地区について」雨竜町『公報うりゅう』第410号
- 1988年4月「国領地区の移住について」『公報うりゅう』第417号
- 1988年11月「伏古渡船場とアイヌの熊送り」『公報うりゅう』第424号
- 1989年1月「米騒動における北海道関係史料」『札幌学院大学人文学部紀要』第44号

(5)書評、新刊紹介等

1971年8月「毛利敏彦著『明治維新政治史序説』』『北大史学』第13号

1976年5月「吉田晶他編『日本史を学ぶ』1～5」(共同執筆)『歴史評論』第313号

1977年11月「夕張働く者の歴史を記録する会『わが夕張』』『道歴研会報』第9号

1978年4月「士別郷土研究会『続・士別よもやま話』』『読書 北海道』第7号

1979年2月「森山軍治郎『北海道民衆俳句の旅』』『読書 北海道』第19号

(上記書評を1部加筆したものを『道歴研会報』第15号(1979年3月)に転載した。)

1983年1月「宮地正人『天皇制の政治史的研究』」(共同執筆)『日本史研究』第245号

1994年1月「『遠山茂樹著作集』(全9巻)』『歴史学研究』第654号

1999年10月「『北海道と朝鮮人労働者—朝鮮人強制連行実態調査報告書—』札幌唯物論研究会『唯物論』第49号

(6)研究、学界動向等

1975年12月「北海道歴史研究者協議会」(共同執筆)『歴史評論』第308号

1976年10月「歴史家—北海道における歴史学運動の紹介—」(共同執筆)『歴史評論』第318号

1977年5月「歴史運動について—国民的歴史学運動の検討を通して—」『道歴研会報』第8号

1981年12月「北海道立文書館設立運動の経過について」(共同執筆)『歴史学研究』第499号

1982年11月「『教科書問題を考える夕べ』に参加して」北海道新聞1982年11月16日夕刊

1983年7月「民衆史に学ぶ」札幌市立図書館『らいらっく』第147号

1984年5月「北海道実行委員会の活動再開」(共同執筆)自由民権百年全国集会実行委員会
会報『自由民権百年』第14号

1985年5月「北海道立文書館開設に望む」『北海道新聞』1985年5月1日夕刊

2010年10月「北爪真佐夫先生のご逝去を悼む」『札幌学院大学人文学会紀要』第88号

(7)辞典の執筆項目

1981年8月『北海道大百科事典』(上・下巻)北海道新聞社

「開拓使官有物払下げ事件」「北垣国道」を担当

1984年11月『日本大百科全書』(全25巻)小学館

「有島農場」「開陽丸」「樺太・千島交換条約」「鎖塚」「五稜郭」「佐藤昌介」「札幌農学校」「津田仙」「函館戦争」「本多新」「間宮林蔵」「最上徳内」を担当

研究発表、講演等は省略した。

2013年12月21日作成